

## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社プラッツ 上場取引所 東 福  
 コード番号 7813 URL <https://www.platz-ltd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河内谷忠弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 近藤勲 TEL 092-584-3434  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	6,300	△0.6	196	12.7	236	12.0	216	28.0
2025年6月期第3四半期	6,338	30.7	174	183.2	211	19.9	168	2.4

（注）包括利益 2026年6月期第3四半期 335百万円（215.3%） 2025年6月期第3四半期 106百万円（△37.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	63.91	—
2025年6月期第3四半期	47.53	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	6,612	3,369	51.0
2025年6月期	6,249	3,095	49.5

（参考）自己資本 2026年6月期第3四半期 3,369百万円 2025年6月期 3,095百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2026年6月期	—	0.00	—		
2026年6月期（予想）				24.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	4.5	400	118.0	425	77.1	275	42.5	77.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期3Q	3,726,000株	2025年6月期	3,726,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	344,534株	2025年6月期	345,234株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期3Q	3,381,172株	2025年6月期3Q	3,551,733株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、従業員向け株式給付信託の信託財産として日本カストディ銀行（信託口）が所有する当社株式169,400株を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10
(追加情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、国内の物価上昇や円安の進行が企業活動や景気に与える影響については、引き続き注視が必要な状況となっております。

米国では景気の底堅さがみられる一方、中国では景気の減速傾向が続いております。世界経済全体としては緩やかな持ち直しが続いているものの、金融資本市場の変動や各国の政策動向に加え、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化などの地政学的リスクもあり、エネルギー価格や物価、為替動向を通じて世界経済や企業活動に影響を及ぼすことが懸念されており、先行きは不透明な状況が続いております。

介護保険制度の状況につきましては、2025年11月時点の要支援及び要介護認定者の総数は、前年比で1.8%増加し761万人、総受給者数は同1.8%増加し585万人となっております。また、福祉用具貸与制度における特殊寝台利用件数については前年比で1.7万件増加し、113.7万件（前年比1.6%増）となっております（出所：厚生労働省HP「介護給付費実態統計月報」）。

このような市場環境の中、福祉用具流通市場の当第3四半期連結累計期間の販売実績は前年同四半期比で0.8%増加し、3,426百万円となっております。

医療・高齢者施設市場におきましては、介護保険制度における施設サービス（特別養護老人ホーム等）、特定施設及び地域密着型サービス（有料老人ホーム等）を提供する事業所数が2025年11月時点で4.2万事業所（前年比0.2%減）となっております（出所：厚生労働省HP「介護給付費実態統計月報」）。また、国土交通省による「高齢者等居住安定化推進事業」に基づく高齢者住宅（サービス付き高齢者住宅）につきましては、2025年11月時点で8,345棟（同0.3%増）、29.1万戸（同1.0%増）となっております（出所：サービス付き高齢者住宅情報提供システムHP「登録情報の集計結果等」）。

このような市場環境の中、当第3四半期連結累計期間の同市場の販売実績は前年同四半期比で14.9%増加し、1,855百万円となっております。

家具・寝具流通市場の医療介護用電動ベッドの状況としましては、一般ベッドと同様に減少傾向が続いております。また、連結子会社のやまと産業株式会社のマットレスにおいては、前期の好調な販売実績に対し、今期は一部製品群で需要が一服し、売上が落ち着いた推移となったため、当第3四半期連結累計期間の同市場の販売実績は前年同四半期比で27.2%減少し、873百万円となっております。

海外市場におきましては、前年同四半期と比べて韓国向けの出荷が好調だったため、当第3四半期連結累計期間の同市場の販売実績は前年同四半期比で18.1%増加し、145百万円となっております。

なお、当社及び連結子会社における当第3四半期連結累計期間の医療介護用電動ベッドの総販売台数は3.3万台（前年同四半期比4.2%増）となっております。

為替の状況に関しましては、当第3四半期連結累計期間の仕入実績為替レートが1ドル=147円79銭となり、前年同四半期と比較して円高傾向で推移したことに加え、製造・仕入コスト見直しによる製造原価の低減により売上総利益率は32.0%（前年同四半期比2.5ポイント増）となっております。

また、営業外収益として持分法による投資利益43百万円（前年同四半期比24.8%減）、為替差益5百万円（前年同四半期は為替差損13百万円）を計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,300百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益196百万円（同12.7%増）、経常利益236百万円（同12.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益216百万円（同28.0%増）となりました。

なお、当社グループは、「医療介護用電動ベッド事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

当第3四半期連結累計期間の販売実績を販売先市場別に示すと、次のとおりであります。

販売先市場	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)	前年同期増減率 (%)
福祉用具流通市場 (千円)	3,400,007	3,426,459	0.8
医療・高齢者施設市場 (千円)	1,615,248	1,855,892	14.9
家具・寝具流通市場 (千円)	1,200,067	873,125	△27.2
海外市場 (千円)	122,866	145,070	18.1
合計 (千円)	6,338,189	6,300,548	△0.6

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、6,612百万円となり、前連結会計年度末より363百万円増加いたしました。増加の主な要因は、現金及び預金、未着品、無形固定資産ののれんが減少したものの、売掛金、為替予約、投資有価証券が増加したことによるものです。

(負債)

負債につきましては、3,243百万円となり、前連結会計年度末より89百万円増加いたしました。増加の主な要因は、未払法人税等、役員退職慰労引当金が減少したものの、買掛金、1年内返済予定の長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、3,369百万円となり、前連結会計年度末より273百万円増加いたしました。増加の主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものです。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末から1.4ポイント増加し51.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の連結業績の業績予想につきましては、売上高8,800百万円、営業利益400百万円、経常利益425百万円、親会社株主に帰属する当期純利益275百万円を予定しております。

なお、2026年6月期の連結業績予想の前提条件は以下のとおりです。

① 売上高

売上高につきましては、医療介護用電動ベッドの販売先市場ごとに予想値を算出しております。主な販売先市場としては、介護保険制度との関連性が高い福祉用具流通市場及び医療・高齢者施設市場が挙げられます。

両市場の売上高につきましては、厚生労働省が公表する介護保険制度の各種データを参考に、医療介護用電動ベッドの需要動向全体を踏まえ、当社の既存顧客における過去の取引実績や新規顧客の獲得による増収分を見込んで予想値を算出しております。

また、連結子会社のやまと産業の売上高につきましては、前年実績及び新規受注の見込みを元に予想値を算出しております。

② 営業利益

営業利益につきましては、売上高の予想値を前提として策定される売上原価計画、販管費計画を踏まえて算出した金額を予想値としております。

当社グループの仕入は主に米ドル建てで部品及び商品の輸入仕入を行っているため、米ドルの為替変動によるリスクをヘッジする目的で、為替予約取引などの為替デリバティブ取引を行っております。

当期下期の想定為替レートを1ドル=155円00銭に設定しております。また、売上原価計画につきましては、一部締結済みの為替予約取引を踏まえ策定しております。なお、前期の市場平均レートの実績値は、1ドル=149円76銭となります。

また、販売費及び一般管理費は、費目ごとに予想値を算出しており、主な費目としては運賃、荷造包装費及び人件費が挙げられます。

運賃、荷造包装費につきましては、売上高に連動して増減する傾向があることから、売上計画と過去の実績値に基づいて予想値を算出しております。

人件費につきましては、既存人員に係る給与手当や法定福利費に加え、人員計画を考慮して予想値を算出しております。

③ 経常利益

経常利益につきましては、当期に発生が見込まれる営業外収益、営業外費用を考慮して算出した金額を予想値としております。

当社グループは、前述のとおり為替予約取引などの為替デリバティブ取引を行っております。ヘッジ会計が適用されないデリバティブ取引は、各四半期末及び期末時点での当該取引の残高について期末為替レートをもって時価評価を行い、その評価損益は営業外損益の為替差損益に計上されます。

当社は当期末の想定為替レートを1ドル=155円00銭に設定して営業外損益の予想値を算出しております。

なお、2026年3月期末の実績レートは、1ドル=159円88銭となります。

また、当社の持分法適用関連会社であるSHENGBANG METAL CO., LTD.に係る持分法による投資利益につきましては、同社の実績値などを踏まえて予想値を算出しております。

④ 親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当期に発生が見込まれる特別利益、特別損失、税金費用を考慮して算出した金額を予想値としております。

2026年6月期の通期業績予想につきましては、以下の理由により2025年8月7日に公表した業績予想を据え置いております。

A. 売上高

主力の販売先市場である福祉用具流通市場及び医療高齢者施設市場において、販売計画が概ね通期業績予想どおりとなる見込みであるため、業績予想を据え置いております。

B. 営業利益

当第3四半期連結累計期間の期中平均為替レートである1ドル=152円74銭は、下期想定為替レートである1ドル=155円00銭から円高水準となっております。直近のレートは1ドル=157円台近辺で推移しておりますが、一部締結済みの為替予約取引の影響も踏まえつつ、利益率の高い製品の売上構成比が計画比で増加したことに加え、製造・仕入コスト見直しによる製造原価の低減等の効果により、売上総利益は概ね計画どおりに推移していることから業績予想については据え置いております。

C. 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益

前述の営業利益の想定を基に、持分法による投資利益を計上できる見込みであることから、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が通期業績予想どおりとなることを見込めるため、業績予想を据え置いております。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,725,840	1,573,406
受取手形	466	—
電子記録債権	114,574	130,181
売掛金	1,091,732	1,302,632
商品及び製品	665,794	695,562
仕掛品	23,598	23,993
原材料及び貯蔵品	9,411	5,578
未着品	319,326	255,449
為替予約	—	57,780
その他	171,874	193,540
流動資産合計	4,122,619	4,238,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	337,542	349,150
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	91,610	82,208
土地	19,526	19,526
リース資産（純額）	112,079	138,664
建設仮勘定	1,063	12,333
有形固定資産合計	561,823	601,882
無形固定資産		
のれん	108,680	83,098
顧客関連資産	159,849	142,722
その他	4,687	23,806
無形固定資産合計	273,217	249,627
投資その他の資産		
投資有価証券	1,165,989	1,419,932
繰延税金資産	35,734	8,944
その他	90,030	93,962
投資その他の資産合計	1,291,753	1,522,839
固定資産合計	2,126,794	2,374,349
資産合計	6,249,413	6,612,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	154,864	225,068
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	435,868	482,534
リース債務	42,143	49,183
未払法人税等	51,649	13,401
為替予約	21,286	—
その他	270,840	340,241
流動負債合計	1,776,652	1,910,429
固定負債		
長期借入金	771,808	750,668
リース債務	78,066	100,966
繰延税金負債	23,460	2,508
役員退職慰労引当金	284,330	251,137
退職給付に係る負債	143,911	150,546
資産除去債務	34,909	34,999
株式給付引当金	37,380	35,780
その他	3,171	6,256
固定負債合計	1,377,036	1,332,863
負債合計	3,153,689	3,243,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	582,052	582,052
資本剰余金	308,447	308,447
利益剰余金	2,620,561	2,772,723
自己株式	△377,815	△376,334
株主資本合計	3,133,245	3,286,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△343	4,000
繰延ヘッジ損益	△14,802	37,927
為替換算調整勘定	△22,373	40,366
その他の包括利益累計額合計	△37,520	82,294
純資産合計	3,095,724	3,369,182
負債純資産合計	6,249,413	6,612,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	6,338,189	6,300,548
売上原価	4,468,799	4,283,716
売上総利益	1,869,390	2,016,832
販売費及び一般管理費	1,695,302	1,820,708
営業利益	174,088	196,123
営業外収益		
受取利息	814	2,922
受取配当金	940	1,237
為替差益	—	5,665
持分法による投資利益	58,243	43,773
その他	7,038	8,242
営業外収益合計	67,038	61,841
営業外費用		
支払利息	13,526	20,087
為替差損	13,265	—
投資事業組合運用損	2,578	1,185
その他	459	140
営業外費用合計	29,830	21,413
経常利益	211,296	236,551
特別利益		
固定資産売却益	2,937	—
特別利益合計	2,937	—
税金等調整前四半期純利益	214,233	236,551
法人税、住民税及び事業税	65,879	43,000
法人税等調整額	△20,449	△22,545
法人税等合計	45,430	20,454
四半期純利益	168,803	216,096
親会社株主に帰属する四半期純利益	168,803	216,096

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	168,803	216,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,545	4,344
繰延ヘッジ損益	△1,746	52,730
為替換算調整勘定	△3,152	1,318
持分法適用会社に対する持分相当額	△54,832	61,421
その他の包括利益合計	△62,275	119,815
四半期包括利益	106,527	335,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,527	335,911
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1 当座貸越契約

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うために取引銀行7行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
当座貸越極度額の総額	3,300,000千円	3,300,000千円
借入実行残高	800,000千円	800,000千円
差引額	2,500,000千円	2,500,000千円

2 保証債務

下記の取引先の仕入先からの買掛債務に対し、保証を行っております。

保証先	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
UU VIET CO. LTD	244千円	503千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	82,096千円	97,103千円
のれん償却額	20,377千円	19,176千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、「医療介護用電動ベッド事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(従業員向け株式給付信託)

当社は、従業員への福利厚生を目的として、従業員向け株式給付信託（以下、「本制度」という。）を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下、「本信託」という。）が当社株式を取得し、当社取締役会で定める株式給付規定に基づき、一定の要件を満たした当社グループの従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。

当社は、当社グループの従業員に対し、株式給付規定に基づき業績達成度等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給要件を満たした場合には、当該付与ポイントに相当する当社株式及び当社株式の時価相当額の金銭を給付します。なお、本信託設定に係る金銭は全額当社が拠出するため、当社グループの従業員の負担はありません。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、251,918千円、170,100株、当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、250,881千円、169,400株であります。